

2018 年 9 月 13 日

NTTアドバンステクノロジー株式会社

WinActor[®]をオンデマンドで手軽に利用 ～低価格 RPA サービス「WinActor[®] Cast on Call」を年度内提供開始～

NTT アドバンステクノロジー株式会社(以下:NTT-AT、本社:神奈川県川崎市、代表取締役社長:木村丈治)は、2014 年に商品化し販売している RPA ツール「WinActor[®]」を従量課金制でご利用いただける新サービス、「WinActor[®] Cast on Call」を 2018 年度内に開始いたします。

WinActor[®]は、企業等の働き方改革・業務効率化に貢献するツールとして注目されている RPA ツールのひとつであり、日本企業の業務にマッチした純国産ツールとして、金融業から物流・小売業と幅広い分野の企業、約 1,800 社に導入されています。

今後、より多くのお客様に手軽に WinActor[®]をご利用いただけるよう、新たなサービスのご提供に取り組んでまいります。

■WinActor[®]について

WinActor[®]は、NTT アクセスサービスシステム研究所で研究開発された技術をベースに、NTT-AT が商品化した純国産の RPA ツールです。Windows[®]アプリケーション、Web アプリケーションで行うさまざまな操作を「シナリオ」として記録し、自動化します。定型的な繰り返し作業や、大量データを扱う作業を正確に再現することが可能です。さらに、既存システムに手を加えることなく、これまで人手で行ってきた複雑な操作や、複数システムにまたがるデータの投入を自動化し、人手作業の効率・品質・コストの大幅な改善につなげることができます。

WinActor[®]は、業種や会社の規模に関わらず、幅広い業務で活用いただけます。

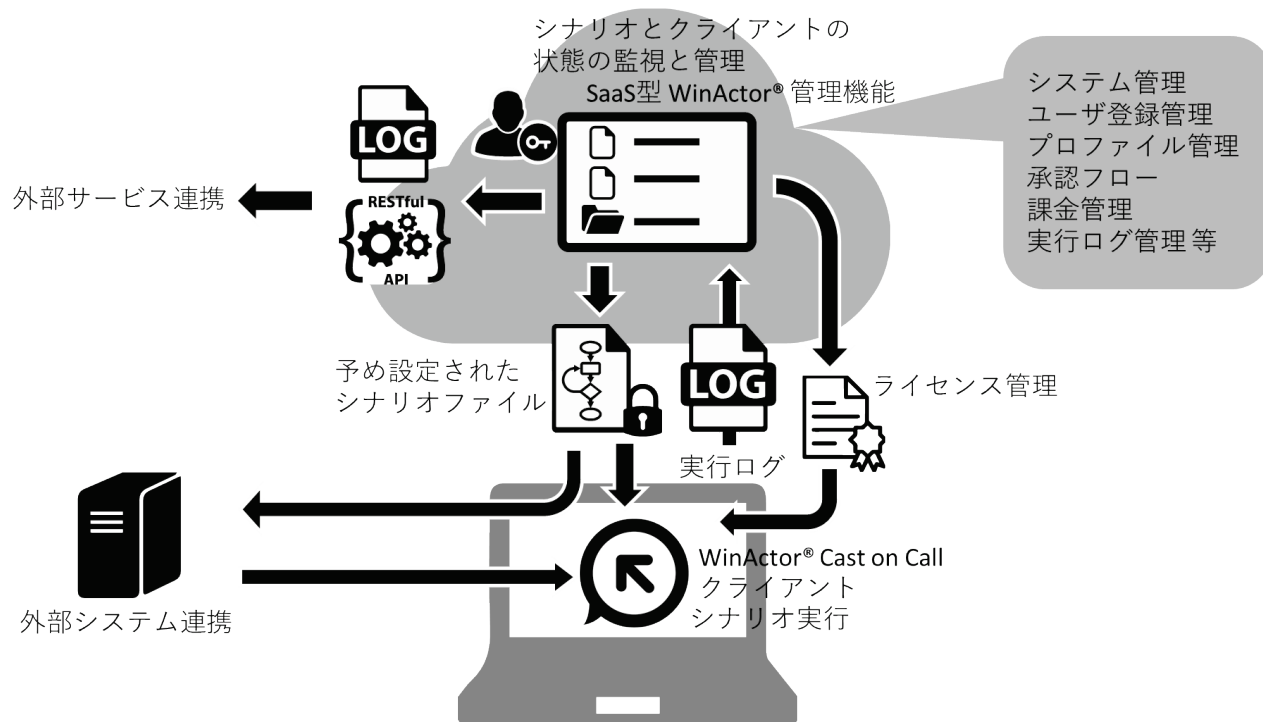
■WinActor[®] Cast on Call の概要

WinActor[®] Cast on Call をご利用のお客様は、クラウド上のダッシュボードにログインし、業務の遂行に必要なシナリオを選択します。選択されたシナリオは、お客様のクライアントにあらかじめインストールされている WinActor[®]で実行されます。お客様には、WinActor[®]を利用いただいた分の料金が発生します。

WinActor[®] Cast on Call の機能として、

- PC1 台の環境から、クライアントとして WinActor[®]を利用できます。
- クラウド上のシナリオをそのまま利用できるため、お客様がシナリオを作成する必要はありません。
- 従量課金制のため、予算に応じた使い方ができます。
- カスタムシナリオ、OCR、その他外部サービスと連携できる、マーケットプレイスを開設します(2019 年度以降を予定)。

WinActor® Cast on Callの模式図



■WinActor® Cast on Call の特長

- (1) WinActor® Cast on Call クライアントをインストールしたその日から業務に利用できるため、自社で RPA を構築する手間や費用をかける必要がありません。
- (2) どのシナリオをいつ実行したかの利用状況が一目でわかるため、容易に WinActor®を運用管理できます。
- (3) 任意の PC で WinActor®を実行できるため、より柔軟な運用が可能です。

■販売について

NTT-AT による直販となります(価格体系は未定)。

■今後のスケジュールについて

年内に複数の実証実験を開始し、年度内に商用サービス開始の予定です。

リリーススケジュールが確定しましたら、弊社ホームページにて詳細をお知らせいたします。

■展示会のお知らせ

来る2018年10月24日(水)～26日(金)に、幕張メッセ(千葉県千葉市美浜区)で開催される「第2回 AI・業務自動化展」のNTT-ATブースにて、WinActor®を出展します。

展示会公式サイト:<http://www.ai-auto.jp/aki/>

出展製品詳細:<http://www.ntt-at.co.jp/product/winactor/>

※ WinActor は NTT アドバンステクノロジー株式会社の登録商標です。

※ 記載された会社名及び製品名は、各社の商標または登録商標です。

【本件に関するお問い合わせ先】

NTTアドバンステクノロジー株式会社

ソリューション第二事業本部

ビジネスロボティクスビジネスユニット

WinActor担当

E-mail: winactor@ml.ntt-at.co.jp